

飛騨「コシヒカリ」栽培地域の水田土壌 における地力窒素の実態を明らかにしました

高品質な水稻を安定的に生産するためには、土壌から供給される窒素、いわゆる地力窒素を加味した適正な窒素施肥が重要です。

飛騨「コシヒカリ」栽培地域の水田土壌において、現時点での地力窒素の実態や特徴を明らかにしました。

「地力窒素」 = 湿10w (湿潤土30℃10週間湛水培養による窒素無機化量)

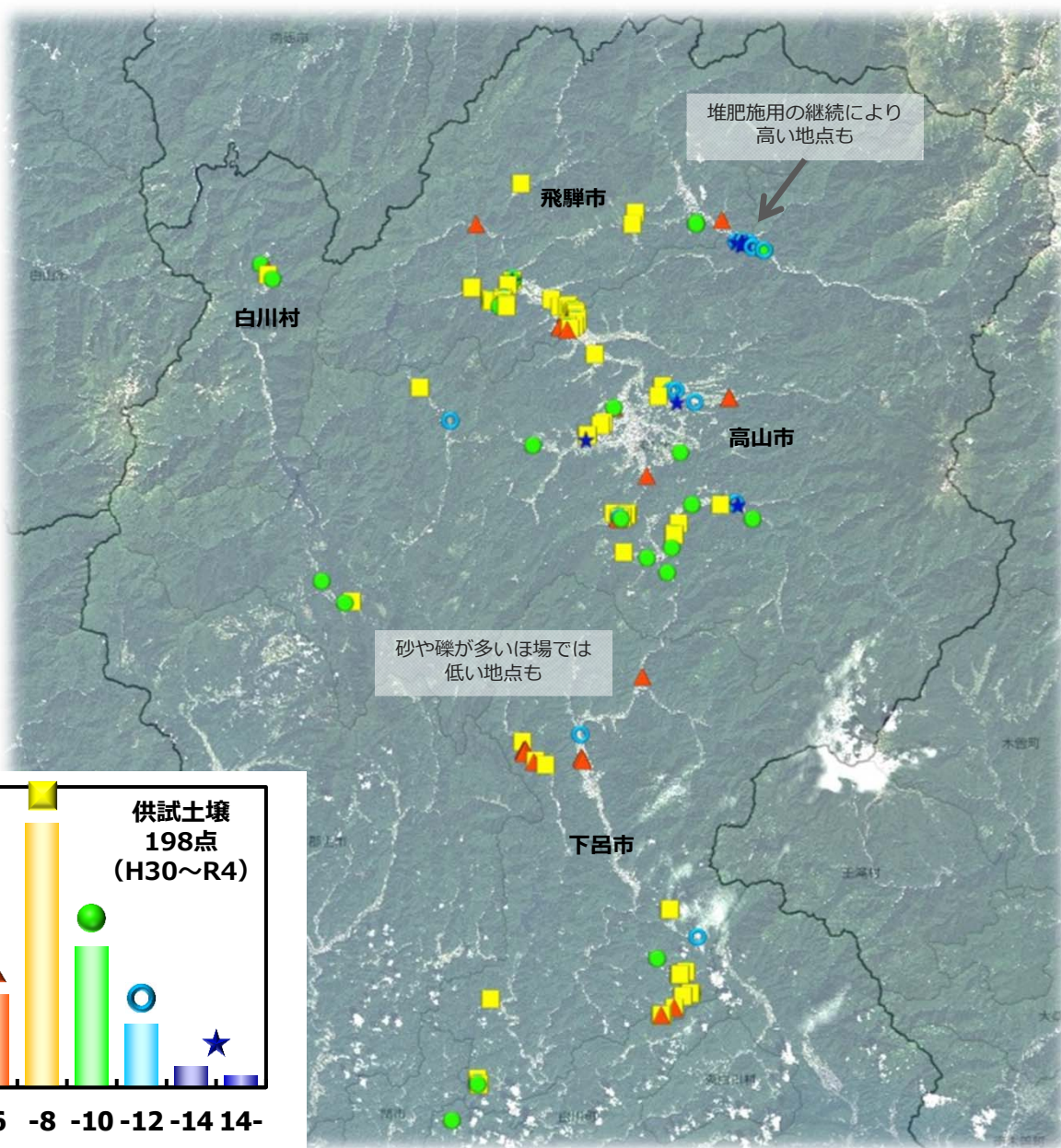
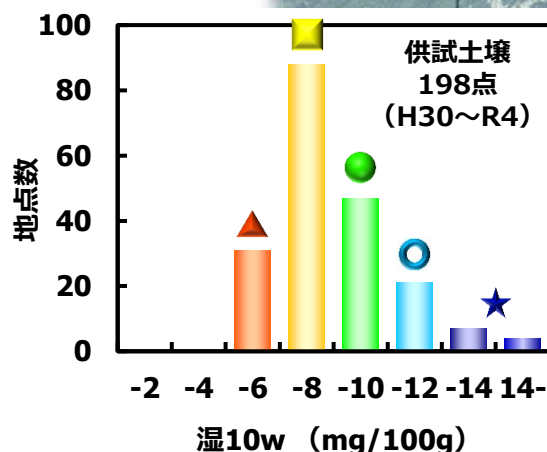
－ 乾土効果をなくすため湿潤土のまま培養試験に供試，土壌からの窒素供給を量的に評価できる手法 －

飛騨地域の水田
土壌では、湿10w
が 6 ～ 8 mg/100g
の地点  が多い

供試土壌198点での
中央値 7.5 mg/100g
平均値 8.0 mg/100g

岐阜・西濃地域の
水田土壌に比べて
やや高い傾向

* グラフのバー上の
凡例は、地図上の
プロットに対応



本地図は国土地理院の地理院地図を用いて作成しました。

(岐阜県農業技術センター 土壌化学部、
共同研究機関：岐阜県中山間農業研究所)